

# 算数科学習指導案

指導者 吉川 弘一

1 日時 平成22年11月17日(水) 第5限

2 場所 5・6年教室

3 学年 5年生 女子2名  
6年生 男子2名 女子2名 計6名

第5学年

4 単元名 面積

5 単元目標

- ・三角形や平行四辺形、台形、ひし形の面積の公式を理解し、公式を使って面積を求めることができる。また、四角形の面積を三角形の分割の考えで求めることができる。
- ・三角形の高さや底辺を変えたときの面積との関係を比例の観点でとらえることができる。

(関心・意欲・態度) 既習の面積公式をもとに、三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積を求める公式を進んで見いだそうとしたり、三角形の高さや底辺と面積の関係を比例の観点でとらえようとする。

(数学的な考え方) 既習の面積公式をもとに、三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積を工夫して求める式をつくることができる。また、三角形の高さや底辺と面積を伴って変わる2つの量としてとらえ、これらの関係を比例という見方で考えることができる。

(表現・処理) 三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積を求める公式を用いて、面積を求めることができる。また、伴って変わる2つの量について比例の関係をとらえることができる。

(知識・理解) 三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積の求め方を理解する。また、比例の意味を理解する。

6 指導にあたって

面積については、第4学年で「長方形や正方形の面積」において、 $1\text{cm}^2$ など単位となる面積がいくつあるかを求めることで、広さを数値化することを学んだ。さらに、長方形、正方形の公式とともに、面積の保存性、等積変形の素地的学習についても、様々な $1\text{cm}^2$ を扱ったり、複合図形の面積を求めたりすることを通して学習してきた。また、図形の構成要素の「頂点や辺の個数」「辺や角の相当関係」に着目して図形を定義したり、描いたり作ったりする学習を行ってきていて、図形についての見方や感覚を養ってきている。

本単元では、三角形、平行四辺形の面積の求め方を考えながら、面積の理解を深めることを主なねらいとしている。このねらいを達成するために、考察する図形を合成・分解する体験的・作業的活動を多

く取り入れていく。完成する図形をイメージさせながら、切り離れた図形がどの位置へどのように移動するのか、操作する過程をじっくり体験させながら求積方法に気づかせたい。

5年生は2名であるが、学習進度の個人差が大きい。特に文章題等思考を要する問題になると、文章の内容を正しく理解できずに、文章を読む段階で立ち止まってしまうことも多い。そのため、まず文章を声に出して読み、分かっていること・求めることを見つけること、次にかけ算かわり算なのかを決定するキーワードをその問題からを見つけることを支援している。そして、そのことをノートにまとめ、立式につなげていく。立式ができれば、今度は自分の考えを「まず」「次に」「そして」の順に文と説明の図や絵を描き、答えに至るように支援している。しかし、立式と答えが書いても説明の言葉をうまくつなげないのが現状で、今後も指導を続けていきたい。

本時では、一般の三角形の面積の求め方をいろいろに考えさせるのがねらいである。一般の三角形の面積は、2つの直角三角形に分けて求めることができる。一つは、2つの直角三角形の面積と実際に求めてその和を求める方法である。

もう一つは、前時の直角三角形の求め方と同様に、長方形に結びつけ長方形の2分の1として求める方法である。それらの考え方を導くために、実寸の方眼紙に三角形を書いたものをたくさん用意しておき、実際に児童がそのものを使って、切る、色を付けるなどの操作をできるように配慮したい。

そして、これらの考え方が児童から出た場合は、まず前者を取り上げ答えを出させる。次に後者の考えを取り上げる。後者の考えの式の簡潔さに気づかせて、次時の三角形の面積を求める公式へとつなげていきたい。このような具体的な操作活動や自分の考えを筋道立てて書き、発表させる活動が続けていくことで、本校の研究主題「生き生きと学び、みんなとともに成長し合う子をめざして～思考力・判断力・表現力を高めるために～」に迫っていけると考えている。

## 7 単元の指導計画と評価（全12時間）

次	時	目 標	学習活動	評価規準
1	1	・直角三角形の面積の求め方を理解する。	・長方形や正方形の面積の求め方から、直角三角形の面積の求め方を考える。	・直角三角形の面積を求めることができる。（表） ・既習の図形の求積方法をもとに、直角三角形の面積の求め方を考えることができる。（考）
	2	・一般の三角形の面積の求め方をいろいろ考える。	・長方形や直角三角形の面積の求め方から、一般の三角形の面積の求め方を考える。	・一般の三角形の面積をいろいろな方法で考えようとする。（関） ・既習の図形の求積方法をもとに、一般の三角形の面積の求め方を考えることができる。（考）
	3	・三角形の面積を求める公式を考える。	・三角形の面積を求める公式について考え、公式をまとめる。	・既習の図形の求積方法をもとに、三角形の面積の公式を考えることができる。（考） ・三角形の面積が公式で求められることを理解する。（知）
	4	・三角形分割の考え方で四角形の面積を求め	・三角形の面積の求め方をもとに、四角形の面積を求め	・一般四角形の面積を工夫して求めようとする。（関）

		る。	る。	・一般四角形の面積を、三角形の求積公式を用いて求めることができる。 (表)
2	5	・平行四辺形の内積の求め方を考え、公式にまとめる。	・三角形の内積の求め方や等積変形を使って、平行四辺形の内積を求める。	・平行四辺形の内積の求め方を考えることができる。(考) ・平行四辺形の内積を求めることができる。(表)
3	6	・高さが外にある三角形や平行四辺形にも、面積を求める公式を適用する。	・高さが外にある三角形や平行四辺形を一般の三角形や平行四辺形に変形させ、面積を求める公式が適用できることを理解する。	・高さが外側にくる場合でも、既習の図形の内積の求め方に帰着させることで三角形や平行四辺形の求積公式を活用しようとする。(関) ・高さが三角形や平行四辺形の外側にくる場合にも、求積公式が使えることを理解している。(知)
	7	・求積公式を用いて台形の内積を求める。	・台形の内積の求め方を考え、面積を求める公式を理解する。	・台形の内積求め方を、いろいろな方法で考えることができる。(考) ・台形の内積の求める公式理解している。(知)
	8	・求積公式を用いてひし形の内積を求める。	・ひし形の内積の求め方を考え、面積を求める公式を理解する。	・ひし形の内積に関心を持ち、いろいろな方法で考えることができる。(考) ・ひし形の内積の求める公式を理解している。(知)
	9	・練習問題をやる。		
4	10	・三角形の高さや底辺を変えたときの、面積との関係を比例の観点でとらえることができる。	・三角形の高さや底辺と面積が比例していることを理解する。	・三角形の内積の変化のきまりを見つけ、比例関係としてとらえることができる。(考) ・三角形の内積の変化のきまりを比例関係として理解している。(知)
	11	・式の表す意味を具体的に即して色々によみとる。	・式の形から、いろいろな求積の仕方がよみとれることをまとめる。	・公式の表す意味を具体的に即しているいろに読みとることができる(考) ・図と式を対応させて、求積方法をかき表すことができる。(表)
	12	・基本の確かめ問題をやる。		

# 算数科学習指導案

指導者 吉川 弘一

1 日時 平成22年11月17日(水) 第2限

2 場所 5・6年教室

3 学年 5年生 女子2名  
6年生 男子2名 女子2名 計6名

## 第6学年

4 単元名 体積

5 単元目標

- ・ 体積の普遍単位 $\text{cm}^3$ 、 $\text{m}^3$ を知り、直方体や立方体の体積を求めることができる。

(関心・意欲・態度) 単位となる大きさのいくつ分としてものの大きさを数値化することのよさに気づき、進んでこれを活用しようとする。

(数学的な考え方) 直方体や立方体の体積公式を考え出したり、これを活用して簡単な複合図形の体積の求め方を工夫したりすることができる。

(表現・処理) 直方体や立方体の体積を求めることができる。

(知識・理解) 体積の意味がわかり、単位 $\text{cm}^3$ 、 $\text{m}^3$ を知る。

6 指導にあたって

本単元は「直方体・立方体の体積」「大きな体積」「体積の求め方の工夫」の3単元からなる。

児童はこれまでに、第3学年「水のかさとはかり方と表し方」において、液量をリットルやデシリットル、ミリリットルなどの単位の大きさをもとにはかることを通して、かさの概念やかさの単位の相互関係を学習している。また、第4学年「面積のはかり方と表し方」では、面積の概念や求め方、面積の単位の相互関係などを学習し、さらに第5学年で三角形や平行四辺形、台形などの面積の求め方についても学習してきている。そして、前単元では立体の図形の基本的な形としての直方体、立方体の概念や性質などを学習してきた。

本単元では、上記の学習をもとにしながら、体積の概念や求め方、体積の単位の相互関係などを学習していく。

6年生は、数と計算での整数や分数の計算、数量関係でのグラフや図を書く場面では、労せず学習を進めることができる。しかし、文章問題など思考を要する場面では、問題を解くのに時間がかかったり、その問題にあった式も書けなかったりして、悩む児童が多い。

そのため、まず文章題を声に出して読み、分かっていること・求めることに線を引き、次にその線を引いた要点をノートに書き写す作業を行う。そして立式、立式の説明の言葉や図を書き、答えに結びつけて行く過程を指導している。立式の説明の手順として、「はじめに」「次に」「そして(だから)」という言葉を交え、結論まで書く指導を続けている。まだまだ、全員が筋道立てて問題解決にまで至らない

が、徐々に立式の説明の言葉や図を書ける児童が増えてきている。また友だちに分かるように順序立てた説明ができるようにもなっている。

第1単元では、体積の概念、直方体と立方体の体積の求積と公式などを扱う。学習の進め方や考え方は、第4学年で学習した面積と同様であるので、面積での学習を想起させながら学習を進めていきたい。しかし、面積と混同し、体積の概念が十分理解できない児童のために、体積とはかさのことであることを積み木を操作したり模型を使ったりしながら、十分理解できるようにしていきたい。

第2単元では、大きな体積の単位と求積を扱う。長さの単位や面積の単位についても、量感や単位の相互関係が十分つかめない児童がいる。体積についても同様で、具体物を用意し実際に操作したりする中で、視覚的、体験的に量感や相互関係などをつかませていきたい。

第3単元では、複合図形の体積の求め方を扱う。求積は、4年生で学習した複合図形の面積の求め方を想起させて学習を進めていきたい。

本時では、L字型の立体の体積を工夫して考え、求めていくのがねらいである。L字型の平面の面積については、第4学年ですでに学習しているので、その考え方を立体の体積の求積へと結びつけることができれば、問題解決の近道だと考える。つまり、立方体や直方体に分解したり補ったりして、既習の体積の公式を活用して求めることができるわけである。これらの活動を、図や模型を操作して行わせたいと考える。そして、1つの求め方を考え出せた児童については、2つ目の求め方を考えさせ、さらに余裕があれば他の求め方をいろいろ考えさせたい。

このような具体的な操作活動やいろいろな考え方をを見つけ出し、筋道立てた解き方をノートに書いたり、発表したりする活動を続けることで本校の研究主題「生き生きと学びみんなとともに成長し合う子をめざして～思考力・判断力・表現力を高めるために～」に迫っていきたいと考えている。

## 7 単元の指導計画と評価（全9時間）

次	時	目 標	学習活動	評価規準
1	1	・直方体の大きさを数値化する方法を考え、体積の概念を理解して、単位 $\text{cm}^3$ を知る。	・直方体や立方体を1辺が1 cmの立方体に置き換えて考える。 ・体積の用語や単位 $\text{cm}^3$ を知る。 ・1 $\text{cm}^3$ の立方体を積み重ねた図形の体積を求める。	・直方体や立方体が、それぞれ積み木いくつ分になるのかを操作で求めようとする。(関) ・直方体や立方体の体積を積み木の数で求めることを理解している。(知)
	2	・直方体や立方体の体積を計算で求める方法を考え公式にまとめる。	・1 $\text{cm}^3$ の立方体がいくつ分あるのかを考え、それをもとに公式を導く。 ・直方体や立方体の体積を公式を用いて求める。	・1 $\text{cm}^3$ の立方体の並び方から辺の長さに着目し、公式を理解している。(知) ・直方体や立方体の体積を公式を用いて求めることができる。(表)
	3	・水の体積が1000 $\text{cm}^3$ になる直方体の入れ物の形をいろいろつくることができる。	・1000 $\text{cm}^3$ になる直方体の入れ物の形を色々と考え、工作用紙でつくる。	・体積の公式の考え方を生かして、1000 $\text{cm}^3$ の直方体をいろいろ考えたり、つくったりしようとする。(関) ・展開図をもとに、体積が100

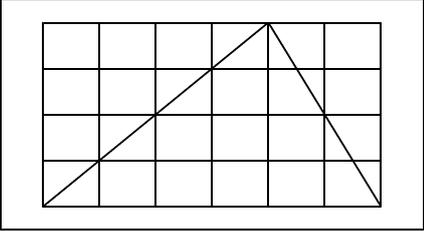
				0 cm <sup>3</sup> になる直方体をつくることができる。(表)
2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ m<sup>3</sup>の単位を知り、長さがmで表される直方体の体積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 m<sup>3</sup>の立方体がいくつ分あるのかを考え、m単位の直方体や立方体の体積を公式を用いて求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長さがmで表されている直方体の体積を、1辺が1 mの立方体を単位として公式にあてはめて考えることができる。(考)</li> <li>・ 長さがmで表されている直方体や立方体の体積を求めることができる。(表)</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ m<sup>3</sup>とcm<sup>3</sup>との関係を理解する。</li> <li>・ 容積の意味を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 m<sup>3</sup>と1 cm<sup>3</sup>との関係を調べる。</li> <li>・ 1 mのテープや棒を使って1 m<sup>3</sup>の大きさをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 m<sup>3</sup>と1 cm<sup>3</sup>との関係を理解している。(知)</li> <li>・ 1 m<sup>3</sup>の立方体づくりを通して、1 m<sup>3</sup>の大きさをとらえようとする。(関)</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体積の公式を使って、辺の長さが小数値の場合の直方体や立方体の体積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辺の長さが小数で表された直方体の体積を計算で求める方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体積の公式を使って、辺の長さが小数で表されている直方体の体積を求めることができる。(表)</li> <li>・ 体積は、辺の長さが小数で表されていても公式を使って求めることができることを理解している。(知)</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 練習問題をする。</li> </ul>		
3	8 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L字型などの立体の体積の求め方をL字型などの面積の求め方をもとに考え、直方体と立方体の体積の公式を活用して求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L字型やU字型の立体の体積を、直方体に分けたりつぎたしたりして考えて求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L字型などの立体の体積をL字型などの面積の求め方を想起して、求めようとする。(関)</li> <li>・ L字型などの立体の体積を、直方体や立方体に分割したり、補ったりして、直方体や立方体の体積の公式を活用して、求めることができる。(表)</li> </ul>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本の確かめ問題をする。</li> </ul>		

8 本時の学習

(1) 目標

一般の三角形の面積の求め方をいろいろに考える。

(2) 本時の展開

第5学年	
<p>●支援 ◎評価 ○手だて</p> <p>●方眼紙に三角形の図を提示し、本時の学習内容。</p>	<p style="text-align: center;">学習活動</p> <p>①三角形の図を見て問題場面を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>3</b> 右の三角形の面積の求め方を考えましょう。</p> </div> <p style="text-align: center;">1 cm</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="margin-right: 10px;">1 cm</div>  </div>
<p>三角形の求め方をいろいろに考えましょう。</p>	
<p>◎既習事項に帰着させて、工夫して面積を求めることができる。(考)〔観察〕</p> <p>○配布した図形を切ったり、動かしたりして具体的な操作活動をさせる。</p> <p>◎既習の図形の求積法をもとに、一般の三角形の面積の求め方を考えることができる。(考)〔プリント〕</p> <p>○三角形が2つの直角三角形に分けられることを示し、それぞれの直角三角形を求積し、和を求めればよいことに気づかせる。</p> <p>●児童に配布した図を実際に2つに分け、それぞれの直角三角形を明確にする。</p> <p>●○どうし、△どうしは合同であることから、長方形の半分になることを理解させる。</p> <p>○三角形の一部を切り、移動させることで求積可能な長方形に等積変形できることに気づかせる。</p> <p>●どのような求め方でも、長方形の面積の半分になることに気づかせる。</p>	<p>②配布した図形を使っていろいろな方法を考える。</p> <p>③発表する。</p> <p>④まとめる</p>

8 本時の学習

(1) 目標

L字型などの立体の体積の求め方をL字型などの面積の求め方をもとに考え、直方体や立方体の体積の公式を活用して求めることができる。

(2) 本時の展開

第6学年	
学習活動	●支援 ◎評価 ○手だて
<p>①学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>1</b> 右のような立体があります。 この立体の体積をくふうして求めましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>○直方体や立方体の求積公式がそのまま使えないことを確認し、公式を使えるようにするために工夫する必要があることを知らせる。</p> <p>◎L字型などの立体の体積をL字型などの面積の求め方を想起して、求めようとする。(関) [観察]</p>
<p>②体積を工夫して求める。</p>	<p>○第4学年でL字型の面積を工夫して求めたことを想起させたり、実際の図に補助線を引かせて考えさせる。</p> <p>●いろいろな求め方を考えさせる。</p> <p>◎L字型などの立体の体積を、直方体や立方体に分割したり、補ったりして、直方体や立方体の体積の公式を活用して、求めることができる。(表) [プリント]</p> <p>○ウは、大きな直方体の体積から、欠けている直方体の部分の体積をひくことにより、全体の体積を求めていることを確認する。</p> <p>●アとイの求め方は、L字型の立体を2つの直方体に分割してそれぞれの体積を求め、それを合わせて全体の体積を求めていることを確認する。</p> <p>●L字型などの立体の体積は、いくつかの直方体に分けたり、大きな直方体の体積から欠けている直方体の体積をひいたりして求めることができることに気づかせる。</p>
<p>③発表する。</p>	
<p>④まとめる。</p>	

くふうして体積を求めましょう。

## 協議会

### 1 授業者より

(5年)

三角形の面積を求める方法を、たくさん引き出せるようにするのは、どのようにすればよいかを考え、書き込んだり、切ったり貼ったり出来る方眼の書かれた図形を書いた用紙を、一人にたくさん用意した。その結果、切るのを失敗しても次の紙を使えるという安心感で、いろいろな考え方が出ることが出来た。

しかし、ワークシートに自分の考えを書き込み発表する場面では、言葉がはっきり言えないとか、言葉を繋げないなどの場面が見られ、今後の課題として残った。

(6年)

複合立体の L 字型の図形を求めるには、平面的な見取り図の他に問題の形通りの立体の模型を用意した。一人に2個の立体を用意したことにより、教科書に出ている方法だけではなく、立体を組み合わせる方法の考え方が出せて、興味を持って子どもたちが取り組めた。ただ、ワークシートに考えを書き込む作業に時間がかかり、いろいろな考え方を子どもたち同士で練り合う場面まで進めなかったことが残念である。

### 2 協議

#### ○成果

##### 学習メニューの掲示

学習メニューを黒板に提示して、みんなに分かるようにしている。

##### 丁寧な言葉遣い・落ち着いた学習の雰囲気

(5年)

- ・熱心に課題に取り組んでいた。
- ・つぶやきが聞こえ、楽しそうに取り組んでいた。

(共通)

- ・落ち着いた雰囲気の中で学習が進められた。
- ・学習規律がきちんとできている。
- ・教師の言葉遣いが穏やかで、語り口調で進められ、子どもの気持ちも落ち着き、やる気にさせていた。

##### 発表に向けての工夫・少人数でもしっかり考える

(5年)

- ・色を塗ってわかりやすく考えるなどの工夫をしていた。
- ・切って、貼って、分かりやすく説明できるように工夫していた。
- ・切ったり、書き込んだりできる三角形がプリントされたものがたくさん用意されていたので、いろいろな考えやすく、自分の思うように活用できていた。

(共通)

- ・少ない人数でたくさんの考えが出せた。
- ・考えられない子は1人もいなく、全員が活躍していた。
- ・いろいろな考え方を出そうと、努力していた。
- ・学習態度がよく、集中していた。

- ・本時の目標（課題）を把握して、考え方を工夫して求めていた。
- ・時間が足りなくなるくらい、一生けんめい考えていた。

### 適切な支援

（5年）

- ・「その考え方が欲しかった。」という子どもに対する教師の声かけがよかった。

（6年）

- ・「分かったこと」「求めること」を図形の問題の中で考えさせるのは難しいと思っていたが、L字型の立体の問題でもしっかり把握していた。
- ・教師が机間巡視で「工夫して求めるの意味」を穏やかに教えていた。

（共通）

- ・一人一人に適切な支援をしていた。
- ・課題を一人ひとりが理解をしていたので、自分の考えをすぐ作業に移せた。

### 教材の工夫・いろいろな考えを引き出す工夫

（5年）

- ・三角形のシート8枚入りの教材を用意したことで、いろいろな方法を考えることができた。
- ・方眼を書き込んだシートは、面積を求めるときに基本であるし、わかりやすい。

（6年）

- ・実物サイズの立体と図形プリントがたくさん用意されていたので、考える手助けになった。
- ・教師の模型がよかった。立体を考えるには、見取り図だけでは無理がある。
- ・立体の実物模型が一人に2個ずつあったので、分割したり合わせたりして、求めるイメージが持ちやすかった。
- ・立体の実物模型は子どもたちの興味を高めた。

（共通）

- ・ワークシート・教具の準備がよく、子どもたちの思考に生かされたい。

### わかりやすくまとめる・文字が丁寧

（6年）

- ・図や言葉を使って、自分の考えをわかりやすくまとめていた。
- ・書いている説明の言葉は高学年らしい表現が多かった。
- ・ワークシートに書いている文字、数字が丁寧である。
- ・ワークシートに書く字が落ち着いてかけていて、うまくまとめていた。
- ・考えを文章によくまとめていた。自分の考えに自信を持っているから、早く発表したいという気持ちを感じられた。

（共通）

- ・自分の考えをまとめることができた。
- ・1つの考えを1枚のシートに書いて、とても見やすい。

### しっかりと発表・リーダーの活躍・立ち止まり

（6年）

- ・自分たちで次々授業を進めていこうとする自主的な面が見られた。
- ・司会の言葉がはきはきしてよかった。
- ・しっかり友だちの発表を聞けていた。

- ・学習リーダーが、はっきりした声で指示できていた。
- ・「みんなと違うものを発表して下さい。」等、自分なりに考え指示していた。
- ・学習ルール作りがしっかりできている。
- ・人の発表をよく聞くので「およそは、いらぬのではないか。」という意見も出すことができた。
- ・発表の声が一人一人しっかり出ていて、聞き取りやすかった。
- ・発表では「ここまではいいですか。」と、立ち止まりながら進めていたのがよかった。
- ・「まず」「次に」「そして」という、手順を追った書き方は、考えを整理しやすかった。

## ○課題

### 意見を出し合う・深める

(5年)

- ・方眼を数える方法もあることに気づかせる必要がある。

(6年)

- ・さらに、どの考え方が一番求めやすいかなど、意見交換してもよいのでは。
- ・共通した部分はあるけれど、もう少し違いを深める活動になればよいのでは。
- ・順に一人ずつ発表していたが、一人の発表の後で、質問や意見を出したり、似た考えの子が発表したりというような進め方もよいのではないか。
- ・「底面積×高さ」の考え方が出てもよかった。
- ・黒板に子どもの書いたワークシートを貼るときの工夫がほしい。

(共通)

- ・意見交換する、表現する力をさらに育てて欲しい。
- ・1時間の授業の流し方①個人学習②みんなで練り合う③まとめる④新しい課題の工夫。

### もっと考える時間を

(共通)

- ・まだ考え方をいろいろ個人で持っていたようだが、それを出させるには1時間扱いではなく2時間扱いにしてもいいのでは。
- ・まとめるところまでいけなかったので、時間の設定を考える必要がある。
- ・書くことに時間が多く使われるので、時間を短縮するための書き方の簡略化などの工夫をしないと時間不足になる。

### 言葉を豊かに

(5年)

- ・司会をして、話し合いを進めるという形は、まだできていない。
- ・二人の学級では、考えたことを発表するのに、相手が一人だから難しい面がある。
- ・声が小さく、言葉がはっきりしないので、聞き取りにくい。
- ・6年生は出来ているので、交流して学ばせる必要がある。

### 発表の工夫

(6年)

- ・えんぴつを使ってワークシートに書いていたが、マジックを使ってもいいのでは。
- ・図をうまく書いていたが、発表の時自分の書いた図を使って説明が出来ていない。

5 年 生



6 年 生



協 議 会

